

2024年度 三草山ゼフィルスの森 保全事業計画

1 三草山ゼフィルスの森保全検討会議の開催（継続）

2 回程度の検討会議の開催を予定する。

2 3 ヶ年事業計画の実施（継続）

前年度に策定した 2023 年度~2025 年度の 3 ヶ年事業計画に基づいて、事業を実施する。

3 保全作業【森の更新・管理など】

(1) 広範囲の防鹿柵設置（新規）

ゼフィルスの森東側エリアに防鹿柵を設置する。残りの中央エリア及び西側エリアの設置線を検討する。

（資料添付）

(2) 萌芽更新施業の実施（継続）

今年度防鹿柵で囲う小班 12 内の 0.25ha での施業を 1 月から 2 月にかけて実施する。

(3) 山腹崩壊修復地の植生回復状況のモニタリング（継続）

西側エリアの山腹崩壊地の植生回復状況について、モニタリングを実施し、遷移の状況を記録する。また、侵入が確認されている外来植物除去も継続して行う。

(4) 広葉樹苗育成（継続）

今後伐採地や山腹崩壊地等に植樹することを目標に、前年度に採取したドングリおよび秋に採取するドングリを用いて苗づくりを行う。苗づくりに際しては、引き続きささゆり学園（能勢町立小中一貫校）に協力を求める。

(5) ボランティア保全活動（継続）

例年通り、ボランティア定例活動で行われる次の団体に対して、支援を行う。

対象団体：

①能勢みどりすとクラブ

支援内容：活動への助成

②能勢の里山を繋ぐ会

支援内容：活動地と施設等の提供

上記 2 団体による活動内容例：

- ・防火帯刈払い（ゼフィルスの森外周）
- ・防鹿柵内坪刈り

- ・芽かき
- ・苗畑管理
- ・神山進入路補修（石畳づくり）
- ・登山道・林内整備
- ・防鹿柵メンテナンス
- ・萌芽更新施業（ほだ木、薪づくり）
- ・針葉樹林整備
- ・タガメの田づくり活動地保全活動（草刈りなど）
- ・その他

4 調査など

(1) ゼフィルス類等チョウ類の生息状況調査（継続）

- ・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査（継続）

日本鱗翅学会近畿支部・大阪公立大学と連携し、6月中旬に実施する。

- ・チョウ類トランセクト調査（再開）

1992年に地上権を設定して以降、これまで6回（1992、1995、1999、2001、2004、2015年）チョウ類トランセクト調査を実施してきた。ゼフィルスの森全域に防鹿柵を張るため、施業前後の変化を確認することを目的に、専門家の協力を得て、チョウ類のトランセクト調査を実施する。

(2) ゼフィルスの森動物種調査（新規）

大阪公立大学上田昇平准教授によるゼフィルスの森における植食性昆虫類調査を支援する。

(3) ゼフィルスの森植生調査など（継続・一部新規）

大阪公立大学藤原宣夫教授による、以下の調査を支援する。

- ①ゼフィルスの奇主植物の現存量評価（新規）

- ②防鹿柵による林床植生の保護効果に関する調査（継続）

2015年から実施している15m×15mの調査区（防鹿柵内2カ所、柵外1カ所）で、植生調査を実施する。

- ③ネザサ地掻きモニタリング調査（継続）

- ④山腹崩壊地植生モニタリング調査（継続）

(4) タガメの田づくり活動地水生昆虫調査（継続）

大阪公立大学上田昇平准教授によるタガメの田づくり活動地における水生昆虫調査を支援する。

(5) タガメの田づくり活動地耕作放棄地での水田再生の研究（継続）

大阪公立大学築瀬雅則助教によるタガメの田づくり活動地における水田再生の研究

を支援する。築瀬助教には、タガメの田づくりで使用する稲苗の提供およびイベント実施時の講師としてご協力いただく。

5 普及啓発

(1) 三草山における環境教育（継続）

①近隣の学校による実践

ささゆり学園（能勢町立小中一貫校）、関西大学第一中学校などが三草山ゼフィルスゼフィルスの森やタガメの田づくり活動地を利用して実施する環境教育に協力する。

②都市部の子どもたちに対する実践

企業 CSR 活動等で都市部から子どもたちが訪れる機会を利用して、専門家による森で楽しみながら自然を体感して学べるプログラムを実施する。

(2) 案内看板の維持管理（継続）

老朽化しているものや情報が古くなった看板を撤去・交換・更新する。看板更新については企業からの支援を受けて実施する。今年度で、3ヵ年計画で予定していた案内看板の更新は終了見込みである。（別紙添付）

(3) 観察会の開催（継続）

例年実施しているゼフィルス観察会を実施する。

日程：6月16日（日）

(4) ハイキングなどの開催（継続）

前年度に引き続き一般府民を対象に、長谷の棚田や才の神峠といった能勢の歴史を体感できる内容のハイキングを実施し、自然環境豊かなゼフィルスの森の生物多様性保全に興味を持つ機会をつくる。

日程：11月下旬

(5) タガメの田づくりイベント（継続）

三草山のふもとのタガメの田づくり活動地で行っている3回のイベントを実施する。イベント参加者に対して、ゼフィルスの森の紹介をし、森と水田などふたつの環境が必要な動物などの例を挙げながら里地里山一体で保全活動の必要性を伝える。

(6) 他団体が三草山ゼフィルスの森を活用して行うイベントのサポート（継続）

企業等による CSR 活動への支援、メディア取材への対応、ハイキングへの講師派遣等を行う。

6 その他

(1) 巡回活動（継続）

地元住民（6名）に委嘱し、巡回活動（年12回）を実施する。

(2) 地上権料支払（継続）

地権者に対して地上権料を支払う。

(3) 能勢町との連携（継続・一部新規）

観察会やハイキングなどのイベントを行う際には、能勢町観光協会や、能勢の里山活力推進協議会に協力をあおいで広報などを行い、都市部の市民にも参加を呼びかける。イベント実施時には能勢町が作成した環境学習ツール（冊子）を活用する。

(4) 自然共生サイトへの登録の検討（新規）

環境省の「自然共生サイト」（民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域）への登録申請に向けた検討を始める。